



平成31年4月25日

各 位

会 社 名 株式会社細田工務店
 代 表 者 名 代表取締役社長 阿部 憲一
 (コード番号:1906 東証 JASDAQ)
 問 合 せ 先
 役 職・氏 名 取締役経営企画部長 武藤 雅康
 電 話 03-3220-1111

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成30年5月14日の平成30年3月期決算発表時に開示した平成31年3月期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成31年3月期累計期間の連結業績予想数値の修正 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 24,804	百万円 508	百万円 196	百万円 147	円 銭 7.89
今回修正予想 (B)	22,100	△339	△628	△683	△36.44
増 減 額 (B - A)	△2,704	△847	△824	△830	-
増 減 率 (%)	△10.9	-	-	-	-
(参考) 前期実績 (平成30年3月期)	19,019	288	33	66	3.53

2. 平成31年3月期累計期間の個別業績予想数値の修正 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 23,374	百万円 151	百万円 113	円 銭 6.07
今回修正予想 (B)	21,209	△601	△652	△34.79
増 減 額 (B - A)	△2,165	△752	△765	-
増 減 率 (%)	△9.3	-	-	-

3. 修正の理由

<連結>

当期における売上高につきましては、不動産事業のうち戸建分譲事業において、前期より繰り越した物件の早期完売を目指し、モデルハウスのリニューアルをはじめ、キャンペーンの実施や各種不動産サイトへの物件情報掲載による自社ホームページへのアクセス数増加を促進するなど、各種の販売活動を実施いたしました。しかしながら、当社販売物件へのお問い合わせ件数、資料請求件数、販売現場への来場者数が伸び悩んだことと、競合他社の供給量と併せ、一部のエリアでは供給過多の状態がみられたことから、当初計画した販売棟数210棟に対して50棟不足し、160棟の結果となりました。また、平成31年3月期より本格的に活動を開始した、子会社による買取再販、仲介事業におきましても、物件価格の高騰による取引の減少および競合他社を含めた供給量の増加などの影響から、販売戸数、取引高ともに当初計画を下回りました。このため、不動産事業の売上高は当初計画より2,579百万円下回り、14,380百万円となる見込みであります。

建設事業につきましては、法人受注において、建築コストや物流コストの上昇に伴い、契約率が低下したため、建設事業における売上高は当初計画を125百万円下回る7,720百万円となる見込みです。

これらの結果、全体の売上高は、前回予想24,804百万円に対し22,100百万円と2,704百万円減少する見込みであります。

利益面につきましては、販売費および一般管理費等の経費削減に努めましたが、当期につきましては、特定のエリアの戸建分譲事業の取得済用地等に関して、競合他社を含めた供給量の増加による需給バランスが崩れたことなどを原因とし、たな卸資産評価損として売上原価に286百万円を計上することとしたため、経常損失は628百万円となる見込みです。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回予想147百万円に対し、683百万円の親会社株主に帰属する当期純損失と前回予想を830百万円下回る見込みであります。

株主の皆様には深くお詫び申し上げるとともに、経営陣、従業員が一体となり業績改善に向けた施策の策定に着手しております。

業績改善の施策につきましては、決定後速やかにご説明をさせて頂く予定としており、株主の皆様には引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上